

令和5年度 屏風ヶ浦地域ケアプラザPDCAシート公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

屏風ヶ浦地区は区内でも高齢化率が比較的高い地区であり、一人暮らし世帯も多い地域である。地形の関係で丘陵地の地域と平地の地域があり、狭い道が多く戸建が中心であるが交通の便が悪い。一方駅前の地区についてはマンション等集合住宅が中心となっており人口密度が区内1位となっている。高齢化率も高く高齢者のみの世帯や単身世帯も多い為、ケアプラザまで足を運ぶのが難しい方もいる。

汐見台地区は新しいマンションが次々建設され、若い世代、年少者数は増加しているが高齢者数が減る事はなく、高齢者の単身世帯も多い為相談ケースも増加している。汐見台からケアプラザまでは下りの坂道となっており、屏風ヶ浦地区同様ケアプラザまで足を運ぶのが難しい方が多いため、個別相談に対しては訪問する機会が多くなってきている。

両地区とも、昔から住む世代と転入されてきた若い世代との関りに課題を感じ、地域を支えている活動や自治会町内会活動に若い世代の参加が少ない現状から、担い手不足となっている様子が伺える。

感染症による制限が緩和された事により、今年に入りようやく活動再開に向けて動き始めている状況にある。

両地区の第4期地域福祉保健計画の取組内容を念頭に、地域で行われる様々な活動、行事へ参加し、事務局的機能で後方支援を行う事で関わる方々との関係を深め、より地域に根付いた関係が構築されるよう、社会情勢に配慮しながら出来る限り地域へ出向いていきます。

ケアプラザ周知については、昨年度から拡大実施しているケアプラザニュース等を活用した広報活動を継続的にを行い、高齢者だけではなく多世代の方が利用、相談できる場所であることを発信していきます。また、地域で行われている又は今後再開する活動へ参加させていただく事で、より多くの方にケアプラザの周知できるように働きかけていきます。若年層への直接的アプローチとして、小中学校で実施している認知症サポーター養成講座を通じてケアプラザを紹介することで、学生の親御様を含めた更なる周知となるよう、地域へ出向いた活動を継続していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	汐見台みんなの広場介護予防教室は今年度一年間継続し、モチベーションを維持しつつ、他地区の自主グループの活動を紹介しながら次年度の自主化を促していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年度からの取り組みとして、個別ケア会議の開催件数を増やし、より具体的な地域課題やニーズを吸い上げる。吸い上げた情報を5職種で共有すると共に、地域のケアマネジャーや民生委員へも共有する事で、課題解決に向けての働きかけを行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自主事業について、総合相談等での周知を図っていく。各元気づくりステーションにおいては参加者を増やす取り組みを始めているため、後方支援・助言を行う。年度内に最低1回交流Coと協働し前期高齢者向けポッチャ講座を開催し人材発掘につなげる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	主任児童員や地区内他機関の支援員との連携により、地域課題や支援を必要とする住民の情報などを共有し、ネットワークの構築に努める。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

感染症対策解除となり各地域におけるイベントなどが再開し、その活動情報をキャッチしながら徐々にケアプラザとしての関りについても再開、関係性の強化が図れるよう地域に出向く事を中心に取り組んできた。今年度から生活支援COが交代となり、先ずは地域活動をされている方々との関係性作りを中心に、各地区社協、地域福祉保険計画スイッチONをはじめとして良い関係性を築く事が出来たのではないかと感じている。また、情報発信としてホームページリニューアル、文化祭の4年ぶり再開をはじめとしてケアプラザニュース等各事業のチラシを積極的に配布し、多少ではあったがケアプラザを知らなかった方々の利用も今年度はみられ、ケアプラザ周知の成果が見られた。

重点的な取組においては概ねその目標通り実施する事ができ、特に人材発掘においては地域の担い手発掘を念頭に事業展開を行い、発掘する事ができた。汐見台「みんなの広場」での介護予防教室は年間予定通り実施できており、今後自主化に向けての詰めの段階となってきている。

今年度は地域との関係性作りにおいて「出向く」事を中心に行った結果、様々な情報を得る事ができ、また地域活動の再開にも携われた。既に次年度に向けての各種講座依頼もあり、今後その依頼や期待されている事への取り組みを強化し、ケアプラザ全体として地域に貢献していきたいと考える。

区からのコメント

屏風ヶ浦地区・汐見台地区ともに、高齢単身世帯・高齢者のみの世帯の増加や地形の課題がある中で、個別訪問などきめ細やかに対応していただいています。課題が複雑化するなかで、関係機関が他職種での情報共有や連携をしていくことは重要なことだと思いますので、来年度も積極的な取り組みを継続していただければと思います。

地域支援についても両地区の特性に配慮しながらの支援をしていただきました。担い手の発掘など共通の課題であってもそれぞれのアプローチがあると思います。引き続き地区特性や動きを見つつケアプラザ内の部門連携や地域支援チームの機能も活かしながら取り組んでいただければと思います。